

都市再生整備計画

しおのえ
塩江地区(第5回変更)

かがわ たかまつ
香川県 高松市

令和7年3月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	<input type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業	<input checked="" type="checkbox"/>
まちなかウォークアブル推進事業	<input type="checkbox"/>

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【道の駅を核とした「小さな拠点」整備】 新たな塩江地区の顔となる地域・観光交流拠点(ゲートウェイ)として、駐車場の拡大を始め、物販・飲食、温浴、観光情報発信等の機能を導入する。また、道の駅エリアにおける公共交通の結節機能を強化することで、地域住民、インバウンド客、国内観光客等の移動のシームレス化を図り、人口減少、超高齢化が進む地区においても、安心して暮らすことのできる仕組みを構築する。</p>	<p>■道の駅エリア整備事業 道路(橋梁、道の駅駐車場、右折車線等)整備、高次都市施設(地域交流センター・観光交流センター・ワーケーション拠点施設)、地域生活基盤施設(緑地)、温浴施設整備(提案事業)、既存建物解体</p>
<p>【塩江地区魅力発信等事業】 塩江地区は、新たに整備する道の駅エリア拠点と既存の歴史・文化・観光施設及び民間の観光関連施設が一体となることで、相乗効果を発揮するものである。国際競争力の高い、観光地区を形成するためには、民間事業者や周辺の観光地区との連携強化を図り、地区全体をマネジメントし、塩江温泉郷全体の魅力発信を行う必要がある。</p>	<p>■塩江地区魅力発信等事業 情報発信、観光連携協定、官民連携事業、その他ソフト事業</p>
<p>その他</p>	
<p>【塩江温泉郷観光活性化基本構想策定】 塩江温泉郷は、約1,300年前に名僧行基により発見され、空海(弘法大師)が修行をして湯治を万人に勧めたという伝説もある名湯である。高松の奥座敷とも言われる塩江温泉郷を「オンリーワンの価値を持つ温泉郷」に磨き上げるための指針として、平成29年3月に「塩江温泉郷観光活性化基本構想」を策定し、官民が連携しながら、活性化に向け取り組んでいる。</p> <p>【国民保養温泉地】 塩江温泉郷は、県下で唯一、国から国民保養温泉地※の指定を受けており、良質な温泉を始め、豊かな自然や歴史的・文化的資源など、多くの魅力ある地域資源を有している。 ※温泉法(昭和23年法律第125号)に基づき温泉の公共的利用増進のため、温泉利用の効果が十分期待され、かつ健全な保養地として活用される温泉地を環境大臣が指定するもの。</p> <p>【チーム新・湯治】 温泉郷の活性化には、多業種による連携が必要不可欠であり、高松市は、温泉地を中心とした多様なネットワークづくりである「チーム 新・湯治」のメンバーとなっている。 チーム新・湯治は、環境省自然環境局自然環境整備課温泉地保護利用推進室が設置したものであり、本市としても、今後、チーム新・湯治の輪を広げ、温泉地で過ごす人々の笑顔を創っていくことを目指している。</p> <p>【まちづくりの住民参加】 ・塩江温泉観光協会が中心となって、塩江四大まつり(さくらまつり、ホテルまつり、温泉まつり、紅葉まつり)を開催し、塩江温泉郷のPRや交流人口の拡大に取り組んでいる。 ・昭和初期に、仏生山と塩江とを結ぶ軌道敷を走行していたガソリンカーと言われる乗り物があり、住民の日常生活における移動手段として、また、観光客等の塩江温泉へのアクセスとして利用され、塩江地域の発展に寄与してきた。マッチ箱の愛称で多くの人から愛され、記憶に残るような特徴ある車体であったとされるガソリンカーは、戦時中に廃業になったが、現在、地元関係者や学生等によって、当時の車両を模型等で復元する取組みが行われている。大きな存在感を有するガソリンカー復元の取組みは、新たな地域資源の創出につながる。</p>	

塩江地区(香川県高松市)	面積	12 ha	区域	香川県高松市塩江町安原上東の一部
--------------	----	-------	----	------------------

※ 計画区域が分かるような図面を添付すること。



